

第3回教科用図書採択審議委員会

日 時 令和6年7月25日(木)

13:00～15:00

場 所 中央保健福祉センター 8階講堂

○事務局 定刻となりましたので、ただいまから第3回採択審議委員会を始めます。

審議委員の皆様には、午前中に開催いたしました選定委員会に引き続き、御出席を賜りありがとうございます。本日は、選定委員会の報告を受け、さらに審議を深める会となります。長時間にわたる会となりますが、どうぞよろしく願いいたします。

本日は10名中9名の委員の皆様が御出席ということで、佐世保市教科用図書採択審議委員会条例第6条第2項にのっとり、会を開催させていただきます。

それでは、この後の進行を審議委員長にお願いいたします。よろしく願いします。

○委員長 では、改めまして、皆さん、こんにちは。午前中からの会議から引き続き出席をしていただいている委員の皆様につきましては、本当ありがとうございます。

これより、第3回の教科用図書採択審議委員会を始めます。

先ほどの選定委員会においては、選定委員の皆様の御意見や、あるいは、現場の先生方の御意見をいただきました。この後、本会へ各種3者程度の推薦をしていただきます。その選定委員会の意見を参考として、教科書の妥当性とか有効性とか、活用の方法などについて審議をしていただきまして、教育委員会に報告することになります。選定委員会のあいさつの中で、佐世保市の生徒にとって、一番いい教科書はどれなのかということ、あるいは、先生方にとって一番指導しやすい教科書はどれなのかということ、私たちも基準をしっかりと持ってやっていきたいということをお話させていただきました。皆様に見ていただいている教科書は、どれも国の検定を通過した教科書でありますので、どの教科書を使っても問題はないと国が判断をしているものですので、佐世保市の子供たちにどれを使わせても何ら問題はないのですが、佐世保市の子供たちの特性や特徴、あるいはどういう子供を育てていきたいのかという願いや思い、そういうところをしっかりと考慮しながら選定していく必要があると思っております。また、選定委員会の中では佐世保市の教育大綱や教育振興基本計画との関わりについての話も出ておりましたので、その点についてもしっかりと念頭において選定をしていく必要があると思っておりますので、どうぞよろしく願いします。

教育委員会には、3者程度を推薦することになります。したがって、推薦する3者程度は、選定委員から推薦されたものには限らないというところを私たちはしっかり押さえておきたいと思えます。当然、選定委員会から出されたものについては十分に尊重しながらも、私たちは私たちに、いわゆる先生方だけではなく、保護者の方々や地域の方々など、さまざまな立場の方がおられますので、そういう専門性、より広い専門性の中で考えて選定を行っていきたいと思っておりますので、その点御留意いただければと思っています。

本日は、これまでの教科書研究や選定委員会の傍聴・報告を受けて、審議委員の皆様から御意見をいただくこととなりますので、活発なご意見をどうぞよろしくお願いいたします。

まずは、各種の推薦をされた出版者について、選定委員会の主宰者から報告をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○選定委員会主宰 選定委員会において選定された各種目の出版者について御報告いたします。佐世保市の生徒に合った教科書を選定するに当たり、次のような視点で選定を行いました。

1つ、教育基本法の理念や長崎県教育方針や佐世保市教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長。

2つ目、学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長。

3つ目、学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記や表現や体裁の特長。このような視点で選定を行いました。

これより、選定の際、出された意見を簡単に触れさせていただきますので、しばらくお時間を頂戴いたします。

まず、国語科ですが、選定された教科書は、東京書籍、三省堂、光村図書の3者です。

まずは、東京書籍ですが、全学年の日本語「日本語探検」ではストーリー仕立ての文章から、「文法の窓」ではゲーム仕立ての内容から学習内容に入るという形式をとることで、学習者自身が興味関心を持ちながら、知識・技能を習得できるように工夫されている。

三省堂は、グループディスカッションでは、学年ごとに話合いのコツや実際の話合いの動画を提示することで、学習のゴールイメージを明らかにし、目的や場面に応じて適切に話す・聞く・話し合うなどの能力が育成できるようになっている。

光村図書は、各教材に「学びのカギ」を左右のページにひと目で分かるように配置し、

習得すべき資質・能力と学習の見通しを把握できるようにすることで、主体的に学習に取り組むことができるようになっていくということでした。

次に、書写ですが、選定された教科書は、東京書籍、教育出版、光村図書です。

東京書籍ですが、単元構成が、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」と順を追って進める構成となっており、学習者が見通しを持って主体的に学習に取り組むことができるようになっていく。

教育出版は、「考えよう」で、知識を習得した後に、「学習を生かして書く」「振り返ろう」を配置したり、巻末に書写テストで確認を設けたりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるように工夫されている。

光村図書においては、各教材に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という段階的な流れを設定することで、生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されているということでした。

次に、社会科です。社会科の地理的分野におきましては、東京書籍、帝国書院、日本文教が選定されております。

東京書籍ですが、スキルアップにおいて、「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から、図、グラフの読み取り方や統計資料の使い方などを示すことで、地理の学習に必要な調べまとめる技能を習得することができるよう工夫されている。

帝国書院は、写真の読み取り方や地図やグラフ、統計資料の読み取り方、地域調査で役立つ地形図の使い方などを示すことで、地理の学習に必要な調べまとめる技能を習得することができるようになっていく。

日本文教は、「表現」や「自分の考えをまとめよう」では、資料を読み取ってまとめたり、学習内容を基に表現したりするための課題を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるように工夫されているということでした。

次に、社会科の歴史的分野におきましては、東京書籍、教育出版、そして日本文教が選定されております。

東京書籍ですが、章のはじめに、各時代の特色を示す資料と探究課題を提示し、章末のまとめの活動やコラム「もっと知りたい」を設定することで、課題解決的な学習に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。

教育出版は、「歴史を探ろう」では、エピソードを紹介することに加え、「トライ」で資料を基に考えさせる活動を取り入れることで、学びを深めることができるよう工夫され

ている。

日本文教は、基本用語を分かりやすく説明するとともに、編末の「まとめと振り返り」において、既習事項を年表や地図を用いて確認することで、基礎的・基本的な知識を習得することができるように工夫されているということでした。

次に、社会科の公民的分野におきましては、東京書籍、教育出版、帝国書院が選定されております。

東京書籍ですが、単元を貫く探究課題を設定し、1時間ごとの学習課題と探究課題をつなぐ問いを設けることで、スムーズに探究課題を解決できるように構成され、主体的に学習できるように工夫がされている。

教育出版は、章の終わりの「学習のまとめと表現」がホップ、ステップ、ジャンプと観点別に示されており、既習事項を基に課題を追究させることで、学びを深めることができるよう工夫されている。

帝国書院は、「学習課題」、「確認しよう」、「説明しよう」のマークが付けられ、具体的な課題や問いを示すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、「学習の前に」の学習内容が、生徒の学習意欲を引き出すように工夫されているということでした。

次に、地図におきましては、東京書籍、帝国出版、この2者が選定されております。

東京書籍ですが、現代的な諸課題について、解決に向けて活躍する人々の姿を写真で紹介することで、自己の行動について考えさせ、主体的に課題に迫り、解決しようとする態度を身に付けることができるよう工夫されている。

帝国出版は、鳥瞰図や絵図などを掲載することで、学習への興味関心が高まるよう工夫されている。また、資料ページには、問いを示すことで、主体的に課題を追究することができるよう工夫されているということでした。

次に、数学におきましては、東京書籍、大日本図書、学校図書が選定されております。

東京書籍ですが、各項にあるQRコンテンツでは、シミュレーションや対話シートがあり、ワークシートだけでは体感できない数学的活動の楽しさを実感する素材が多数用意されている。

大日本図書は、各章の「利用」の課題で、問題発見・問題解決の流れを示し、解決の過程を振り返り、新たな問題を発見することを通して、考えを深めることができるように工夫されているということ。

学校図書は、身の回りの事象の中から問題を発見し、考察したり、性質を見いだしたりする「数学的活動のページ」を設けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるように工夫されているということでした。

次に、理科におきましては、東京書籍、大日本図書、啓林館の3者が推薦されております。

東京書籍ですが、節のはじめの「レッツ・スタート」で気付きを得たり、既習事項との違いによる新たな疑問を生じさせたりする問いを提示することで、主体的に学習に取り組む工夫がなされている。

大日本図書は、単元のはじめに「これまでに学習してきたこと」「これから学習すること」を提示し、「思い出そう」では既習事項と学習した学年が提示してあり、学習の見通しを持たせ、主体的に学習に取り組む工夫がなされている。

啓林館は、単元のはじめの「学ぶ前にトライ」と単元末の「学んだ後にリトライ」において、同じ問いについて考え、自己の変容を実感することで、主体的に学習に取り組むよう工夫がされているということでした。

次に、音楽科の一般におきましては、教育出版、教育芸術の2者となっております。

教育出版ですが、学習指導要領に示された指導事項に適した教材が集められ、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しやすい教材や、思いや意図をもって表現するために必要な技能が無理なく身に付くよう、教材が適切に配置されている。

教育芸術は、1年及び2・3年の目標と内容を踏まえ、必要な範囲の内容が無理なく取り扱えるように構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から適切に配置されているということでした。

次に、音楽科の器楽におきましては、教育出版と教育芸術の2者となっております。

教育出版ですが、学習指導要領に示された指導事項に適した教材が集められ、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しやすい教材や、思いや意図を持って表現するために必要な技能が無理なく身に付く教材が適切に配置されている。

教育芸術は、二次元バーコードから手軽に各楽器の模範演奏動画や練習用伴奏音源を視聴することができ、練習用伴奏音源は速度を変更ができるため、生徒の技能習得状況に合わせた個別最適な学習を行うことができる、アンサンブルセミナー等、生徒が音楽を形づくっている要素を体験的に学習できる内容が記載されているということでした。

次に、美術科におきましては開隆堂、光村図書、日本文教が推薦されております。

開隆堂ですが、導入では、歴史的な作品と現代のアニメーション作品の構図の取り方について解説があり、制作をより身近に感じ、主体的な創造活動に取り組むことができる。

光村図書は、各題材に「目標」を明記し、鑑賞と表現を一体的に学ぶことができるよう題材を配列することで、主体的に創造活動に取り組めるよう配慮されている。また、表紙の内側には、美術の根底となる「美しい」や「私たちに問いかける美術」などのキーワードが記されている。

日本文教は、作者の言葉を多数掲載し、「表現のヒント」や参考作品を示すことで、思考して豊かに表現できるように工夫されているということでした。

次に、保健体育科におきましては、東京書籍、大日本図書、学研の3者が推薦されております。

東京書籍ですが、1時間の授業を「見つける」「学習課題」「課題の解決」「知識・技能の習得」「活用する」「広げる」といった一連の流れによって明確にしており、章末の資料で話し合い活動などを通じて、さらに深める工夫がある、デジタルコンテンツなどの資料を使い、学習の理解をさらに広げる仕様になっていて、思考力・判断力・表現力を高める工夫がされている。

大日本図書は、「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」の活動設定がなされているので、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

学研は、「エクササイズ（課題の解決）」において、授業のめあてをつかませる工夫があり、「学びを生かす」では、より発展的な内容での学習課題が示されている。このことにより、生徒がより主体的に学ぶ方法が具体的に示されているということでした。

次に、技術科におきましては、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者となっております。

東京書籍ですが、各ページに「やってみよう」や「調べてみよう」等の簡単な問いかけや活動例を示すことで、興味関心を高めるとともに、二次元バーコードによる資料やワークシートへのリンクを掲載することで、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。

教育図書は、各章に「見つける」「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問いかけを示すことで、興味関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されている。

開隆堂は、問題解決の流れを、「問題の発見と課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価・改善」で共通化させ、問題解決の手順や考え方を明確に示すことで、

問題解決に必要な能力を育成することができるように工夫されているということでした。

次に、家庭科におきましては、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者となっております。

東京書籍ですが、「持続可能な衣、食、住生活」として、分野ごとに学習を深めようと具体的な課題を設定することで、習得した知識・技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力などを身に付けることができるように工夫されている。

教育図書は、「やってみよう」のページでは、「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「ふり返る」の4つのステップで学習活動ができるように構成されており、見通しを持ちながら学び、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができるように工夫されている。

開隆堂は、学習内容ごとに「学習のまとめ」として、記述式の振り返りを設定することで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付いたかを確認しながら、学習することができるように工夫されているということでした。

次に、英語科におきましては、東京書籍、開隆堂、啓林館の3者が推薦されております。

東京書籍ですが、1年生のUnit 1～4に関しては、小学校・中学校のつながりを考慮した学習内容やポイントが整理され、基礎的・基本的な学習の流れが工夫されている。

開隆堂は、「Our Project」では、各単元で習得したコミュニケーションの技能を生かせる目的や場面、状況を設定することで、情報を整理して説明したり、相手とやり取りしたりするなどの言語活動ができるように配慮されている。

啓林館は、コミュニケーション活動の基礎となる知識・技能に十分親しみながら、段階を踏んだ学習場面を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるように工夫されている。またFocus on Formでは、文法事項を簡潔にまとめてあり、有効に活用することで定着が期待できるということでした。

最後に、道徳科です。道徳科におきましては、東京書籍、光村図書、学研の3者が推薦されております。

東京書籍ですが、全教材の脚注に「つぶやき」を設け、自分が考えたことをメモし、話し合いに活用できるようにすることで、自ら問題を設定し、問題を解決したり、言語活動を展開したりできるように配慮されている。

光村図書は、「考えよう」や「チャレンジ問いを立てよう」という手引きを設け、授業で何を考えていけばよいかを明確にすることで、学習のねらいに迫ることができるように配慮されている。

学研は、いのちの教育、いじめ防止を基本に、現代的な課題である情報モラル、多様性、国際理解等の内容を取り入れ、本編教材と関連が深い特設ページを設けることで、主体性を育むことができるように配慮されているということでした。

以上で選定委員会の報告を終わります。

○委員長 御報告ありがとうございました。これを我々も十分に尊重しながら、これから会議を進めてまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

〔選定委員会主宰退席〕

それでは、審議に入りたいと思います。これから教育委員会に挙げる教科書について決めていく段階に入ってまいりますが、教育委員会は、まず3者程度を並列で、いわゆるフラットで挙げるという方針を決めております。

今回対象の教科書は16種目ございますが、その中で3者しかない美術、技術、家庭及び2者しかない地図、音楽一般、音楽器楽については、全ての発行者を報告するという形が考えられます。そこで、6種目については、教科書をもう一度見ていただき、それでいろんな意見等を伺い、そして推薦・報告をするという形をとりたいと思っておりますけれども、皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

6種目について、3者の場合には3者、2者の場合には2者を挙げるということですが、「いやいや、この3者の中でこの2つだよね」という場合には2者でも構わないのかなと思います。そこはもう一度教科書を見ていただいて判断することになるかと思いますが、基本は3者挙げていくという形になるかと思いますが、よろしくをお願いします。

これから教科書を見ていただきまして、それから、この6種目に関わっての御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

美術、技術、家庭、地図、音楽一般、音楽器楽の順に行っていきたいと思います。

まずは、美術から協議を進めていきたいと思っております。

皆様のお手元には、教科書選定のための資料がファイルに挟んであると思います。こちらの資料は、佐世保市の中学校教育研究会の先生方に作っていただいたものです。例えば教育基本法の理念や佐世保市教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえてどうなのか、学習指導要領に目標や内容等踏まえてどうなのか、学習効果や使いやすさ、ユニバーサルデザイン等の観点からどうなのかということがこちらの資料に書かれてありますので、これを参考にしながら教科書を見ていただければと思います。

それでは、教科書を見る時間をとりますので、どうぞよろしく申し上げます。

[教科書研究]

○委員長 それでは、よろしいでしょうか。

まず、選定委員会のほうからは、開隆堂、光村図書、日本文教ということで、お手元の3者の教科書を見ていただいたと思いますが、選定委員会からの報告を聞かれて、あるいは、今、教科書を見られてからの御意見を伺いたいと思いますが、何か御意見をお持ちの方、お願いできればと思います。

○審議委員 日本文教の教科書には、作業の流れが書いてあって、非常に子供たちが製作の段階で分かりやすいというのがあるかなというのが1つ。それから、レタリングの中に「進撃の巨人」など、子供たちの興味があるものが題材として取り上げられているところもあって、いいのかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。日本文教の教科書に作業の流れなどがしっかり記載されている、それから、レタリング等々の中で、アニメのものが取り上げられている、そういうものが教科書の中に書かれているということでした。

ほかに御意見ございませんでしょうか。お願いします。

○審議委員 どれも魅力的で、色も鮮やかで、それから鑑賞資料も見開きに使ってあり、どの教科書もとてもすばらしいなと思って見ていました。その中で、日本文教は小学校でもよく使っているのですが、学びと資料ということで、文字の書き方や図案の設定の仕方など、とてもきめ細かに作品をつくる一歩手前の具体的な作業の仕方、道具の種類なども含めて、とても丁寧に取り扱われているなという印象を持ちました。それから、大村市の定住促進PR動画を動きで伝えるメッセージという形で掲載されています。これは、とても身近に感じられて佐世保市の子供たちにとって、とても妥当性が高いな、効果的だなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。この頃の教科書の印刷技術のすごさといいますか、本当にいろんなものが教科書に鮮明に掲載されていて、どの発行者も本当にいいなというふうに思っていました。先ほど審議委員が言われた大村市の定住促進PR動画は、審議委員の皆様、分かりましたか。

佐世保市の子供たちにとっても効果的ではないかというご意見でした。

ほかに御意見はございませんか。

○審議委員 先ほど審議委員がおっしゃられたように、3者とも見開きの鮮やかな写真が

工夫されていて、とてもよかったかなと思いました。あとは、何か和紙のような印刷があったり、そういう現物により近いものになっていたりするなど、非常に面白かったなと思ったところでした。

○委員長 ほかに何かございませんか。美術科や、技術・家庭など、本免ではなくて、いわゆる免外で担当されている方もいらっしゃると思うのですが、現在佐世保市には美術の免外担当の学校がどの程度ありますでしょうか。

○事務局 はい。3校あります。

○委員長 3校ですか。

○事務局 具体的に離島が2校と、本土に1校。免外に常勤を受けてもらっています。

○委員長 ありがとうございます。免外が3校ということで、そう多くはないのですが、その先生方にとっては、より丁寧なものがいいのかなというふうに思うのですが、そういう視点で見るといかがですか。

資料の中でいうと、例えば、日本文教の中では、さっきもお話がありましたけれど、作者の言葉を多数掲載して、表現のヒントや参考作品を示すことで、ヒントが出てくるというようなことがあります。

光村図書の中では、生徒の試行錯誤の様子が分かる「みんなの工夫」や、生徒作品に「作者の言葉」を添えて掲載している点など、子供たちが作業していく上で、非常に有効ではないかなと思います。また、有名な絵が掲載されているということも、とっても鑑賞的には大切なことなのかもしれませんが、生徒の作品、同じレベルというか、同じ学年の仲間というか、そういう作品がたくさん載っているというのも面白いなと思いました。

それでは、この3者を教育委員会へ推薦していくということでいかがでしょうか。この3者を推薦していくということで異議はございませんでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、美術につきましては、開隆堂、光村図書、日本文教の3者を教育委員会のほうへ報告をしたいと思います。

次に、技術科でございます。技術は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者でございます。それでは、時間をとりますので、教科書を見ていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。それでは、技術でございます。技術の場合は、東

京書籍、教育図書、開隆堂の3者でございますけれども、選定委員からの報告を聞かれて、あるいは、今、教科書を見ていただいたりして、御意見ございましたらお願いいたします。

○審議委員 東京書籍については、やはり二次元バーコードの内容が充実しているので、調査員の資料にも、二次元バーコードによる資料やワークシートへのリンクを掲載することで、子供たちの主体性に効果があるという書き方がなされています。開隆堂については、先ほど委員長がおっしゃった、例えば免外の先生が指導をしても活用しやすいという視点で見てみたのですが、木工の仕上げの仕方や具体的な技術が、他の教科書より大きめの写真や分かりやすい図でとても丁寧に示されているので、これを読むだけでも正しい道具の使い方や製作の基礎的なものが分かるようにできているなという印象をもちました。開隆堂で、私が個人的に引かれたのは、キャリア教育の視点からも、実際その職業についている人の思いや、それまでの苦労や経緯などが1ページにわたって掲載されている部分です。これは、技術という教科の特質から見て、将来的に自分がどういう職業に就きたいかという部分でも大変参考になる部分かなと思います。

○委員長 ありがとうございます。先ほど美術科でもありましたけど、技術科の免外担当の学校がどの程度ありますでしょうか。

○事務局 離島の学校1名です。

○委員長 ありがとうございます。技術・家庭というのは非常に複雑な教科でございます。木工が得意な先生もいらっしゃる、ITが得意な先生もいらっしゃるなど、いろいろな分野がございます。そういう面からいっても、先ほど審議委員からお話があったように、不得意なところ等も具体的に記載されているものがないのではないかとということでした。また、キャリア教育の視点から、実際その職業についている人の思いなどが1ページにわたって取り上げられているということでした。東京書籍の場合には、いわゆるデジタルの部分については、非常に豊富なものがあるのではないかとございますけど、ほかに何か御意見ございますか。

○審議委員 よろしいでしょうか。「スキルアシスト」というのが教育図書にはありまして、これは非常に便利で、個人的には欲しいなと思ったところだったのですが、現場の先生の中では、紛失してしまうのではないかと心配する声も聞かれました。非常に便利で、将来に向けて、これ1冊持っていれば、大人になっても役に立つようなところは実際あるのかなと思って、私はそれだけ欲しいなと思ったりしました。

○委員長 ありがとうございます。他に御意見等ありませんでしょうか。

技術科につきましては、3者フラットということでございますけれども、3者挙げていくということでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、教育委員会には、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者を挙げさせていただこうと思います。

続きまして、家庭科でございます。家庭科は、東京書籍、教育図書、開隆堂、この3者になっております。

それでは、時間をとりますので、教科書を見ていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

[教科書研究]

○委員長 それでは、よろしいでしょうか。家庭科でございます。家庭科は、東京書籍、教育図書、開隆堂、この3者でございますけど、何かお気づき、御意見、あるいは選定委員会の報告を聞かれて、あるいは、実際教科書を見られていかがだったでしょうか。

何か御意見はございませんでしょうか。

なければ、私のほうから、教育図書の105ページに、左利きの包丁の使い方が掲載されていたと思うのですが、左利きの子供にとっての写真が入っていて、ほかは見当たらなかったと思います。それは非常に特筆すべきことかなと思います。技術科で、のこぎりをひくなどいろいろところで、私の見た限りでは、左利きの子供がのこぎりをひいている写真等はちょっと見つけきれなかったのですが。

(「包丁は全部ある」と呼ぶ者あり) 全部ありますか。

○審議委員 東京書籍。写真は東京書籍。68ページ。

○委員長 索引のところに包丁と書いてあったのが教育図書だったので、そこだけかなと思ったのですが、全部の発行者に掲載されているのであれば、もうそこはいいかなと思います。そういう配慮がされていれば、左利きの子供たちにとってもいいのではないかと思います。

○審議委員 開隆堂もありますが、写真ではなく、絵です。

○審議委員 ありはします。

○委員長 今の時代、左利きは矯正していくというよりも、個性としています。そういう子供たちもたくさんいるようですので。

他に御意見はありますか。

特長的に、いいよねとか、あるいは、こういうところがいいなと思うようなところは何かございますか。

○審議委員 「先輩から学ぶ」という内容が開隆堂と教育図書にあるようなのですが、東京書籍には、なかったような。

○委員長 「先輩から学ぶ」は、東京書籍にはないようです。

他に何か特長的なものはないでしょうか。

○審議委員 3者とも、技術を身に付けるガイドブックみたいに、とても丁寧に取り扱われているので、そこは3者とも候補として挙げていいのかなと思いました。ただ、開隆堂は、やはり丁寧だなと思いました。

○委員長 開隆堂ですね。

○審議委員 先ほどの選定委員会の中で、実物大が掲載されているのは開隆堂だけとおっしゃっていましたが、どこにも実物大の大きさの野菜などが結構入っていました。

○委員長 いかがでしょうか。この3者でございますけども、教育委員会のほうに御報告する分で御異議はございませんか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、教育委員会には、東京書籍、教育図書、開隆堂の3者を挙げさせていただこうと思います。

では、次に、地図でございます。地図は、東京書籍、帝国書院の2者になっております。それでは、時間をとりますので、教科書を見ていただきたいと思います。よろしく願います。

[教科書研究]

○委員長 地図は皆さん、見て楽しい部分であるようですが、何かお気づきとか、教科書を見て、あるいは選定委員会からの報告を聞いて、何かございませんでしょうか。

○審議委員 どちらの地図ともに必要な情報は盛り込まれていますし、色鮮やかで見やすく作られていると思うのですが、北アメリカの地図だけ鳥瞰図を見比べてみました。そうしましたら、帝国書院のほうが生動的で大きく、詳しく書かれておりました。資料についても、同じ北アメリカだけで比べてみたのですが、帝国書院のほうで、情報量は多くありました。この地図を使って、授業で調べ学習などをするときの情報量は、帝国書院のほうで分かりやすく、量も多いのかなというふうに見受けました。

○委員長 ありがとうございます。ほかに何か御意見ございませんか。

ぱっと見て、やっぱり色合いや色遣いが全く違ってくるので、好みにもなってくるのかなということもありますけれども、地図につきましては、教育委員会のほうに、2者とも挙げてよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

ありがとうございます。では、東京書籍と帝国書院の2者を挙げさせていただきます。

次に、音楽一般、音楽器楽でございます。

音楽は、一般も器楽も教育出版と教育芸術の2者となっております。

それでは、時間をとりますので、教科書を見ていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

[教科書研究]

○委員長 何かお気づきとか、御意見等ございませんでしょうか。

全体を見たときに、教育出版は伝統音楽に、教育芸術は現代音楽に若干軸を置いている、そういう印象を受けたのですが、委員の皆様から何か御意見はございますか。

○審議委員 打楽器のところに着目して見てみました。というのが、佐世保市の教育振興基本計画の中に、グローバルな人材を育てるという内容がございます。グローバル人材を育てるという視点でいくと、グローバル人材の要素の中に英語を話すだけではなく、日本語、日本人としてのアイデンティティをしっかりと持つておくという視点が必要だということを知ったこともありまして、それで先ほどの日本の音楽について比較しましたら、どちらの教科書にもあって、1年生なのですが、教育芸術のほうは10ページ程度、教育出版のほうは5ページ程度ということで、日本のものとか郷土の民謡などについて詳しく書かれているのは、教育芸術のほうだなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。

ほかにございますか。先ほどもありましたが、佐世保市の教育振興基本計画あるいは教育大綱等々の中でも、国際化の中で、いわゆる自国をしっかりと理解することによって他国を理解していくという、そういうところは大切なことにはなってくるかと思えますけれども、そういう面で教育芸術のほうが取り扱いは多かった、教育出版のほうにも日本の音楽や郷土の民謡などが掲載されていますけれども。ほかに御意見ありますかでしょうか。

○審議委員 選定委員からの報告にもありましたが、練習用伴奏音源で速度を変更できるので、技能習得状況に合わせて学習ができるという点では、教育芸術はいいなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

○審議委員 2者ともにそうだったのですが、二次元バーコードが各ページに示され、コンテンツが豊富に盛り込まれていたのが生徒の主体的な学びに向かいやすいのではないかと思います。

○委員長 貴重なご意見ありがとうございます。

いかがでしょうか。音楽の一般と器楽につきましても、教育出版と教育芸術の2者を教育委員会に挙げるということでいかがでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 ありがとうございます。それでは、音楽の一般と器楽ともに2者を挙げたいと思います。

今のところ、16種目のうち6種目につきまして協議が終わりました。これからが私たちの一番の大きな仕事であります、3者程度に絞っていく段階になります。

それでは、国語から見ていきたいと思います。国語は4者ございまして、4者の中から3者程度ということになります。選定委員会のほうからは東京書籍、三省堂、光村図書の3者が挙がってきております。もう1者、教育出版もございまして、そこももう一度しっかりと見ていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。それでは、しばらく時間をとります。

[教科書研究]

○委員長 国語の場合は、3者でございます。先ほどもお話しましたが、東京書籍、三省堂、光村図書が選定委員会から挙がってきております。もう1者、教育出版も含め4者の教科書を見ていただきましたが、いかがでしょうか。何か御意見等ございませんでしょうか。お願いいたします。

○審議委員 2年生のところ、手紙の書き方があったので、そこを比べてみようと思って見てみたのですが、東京書籍、三省堂、光村図書は手紙の書き方、封書、はがきの書き方、メールの書き方ですね、載っていましたが、教育出版は、レポートの書き方というところはあったのですが、手紙の書き方等はなかったもので、選定委員会から選ばれた3者かなというふうに感じました。

○委員長 ありがとうございます。今から大切になってきますね。入試などにもそういうところが出てきますから、非常にいいことかなと思います。ほかに御意見等ございませんでしょうか。

これから社会や数学、英語など、4者、5者あるいは6者の中から3者程度を選定していく段階になっていくのですが、佐世保市の子供たちの学力状況調査等の中の厳しい部分というのが、「書くこと」なのです。「話すこと・聞くこと」というところは、全国の平均ぐらいに達しているみたいなのですが、やはり「書くこと」がかなり厳しい状況であるというところで、そこを補っていくためには、どうなのかというところから考えていくと、やはり語彙力ではないか。そしてそれを身に付けていくために一番いい教科書はどのようなかという視点から考えてみたところ、どこの教科書も同じような教材が挙がってきているのですが、その中で、光村図書の最後のところに語彙力を上げていくための「言の葉ポケット」や「語彙ブック」が配置されていて、これはいいな、面白いなと思いながら見てきたところがございます。「私の言語の限界は、私の世界の限界を意味する」とある国の哲学者が言ったように、語彙力がどれだけあるかによって違ってくるのかなと思って、本当にこれはいいなと思いました。1つ問題は、先生たちがそれをどれだけ使いきれるかというところですね。先生たちがどれだけ意識をして、使うことができるのかというところがあるのですが、資料の特長の中にこの点について書いてくださっていますので、使う意識はあるのかなというふうに思いました。

ほかに何かございませんか。

○審議委員 光村図書の1年生だったのですが、「学びへの扉」というところがあり、学習の流れといいますか、先ほど委員長が「書くこと」と言われましたが、どういうことを書くのかということが明確にあって、これを学ぶ人は主体的な学び、自分なりにやっているのではないかと。また、要約の仕方など、詳しく記載されているなというのが私の印象でした。それから、三省堂は、同じように「学びの道しるべ」というのがあり、これも主体的に学べるような形になっていて、情景の描写など、自分なりに書き方がしっかりできるのではないかと思いました。どの教科書も、最後のほうに話合いの仕方や要約の仕方、まとめ方など、そういう部分がしっかりと載っているので、こういうのを活用していったら、もっともっと子供の力になっていくのではないかとというふうに思ったところです。

○委員長 ありがとうございます。他に御意見ございませんでしょうか。

○審議委員 東京書籍は、選定委員から報告があったように、学習者自身が興味関心を持ちながら知識などを修得できる工夫がされているなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかに御意見等はございませんか。

○審議委員 国語はほとんど縦書きなのですが、横書きが出てくるのが、何か不思議に思

うのと、斬新だなと思うのと、その辺は両極端なのかなと思いながら見ていました。

○委員長 ありがとうございます。ほかに何かございませんでしょうか。お気づき、何でも結構ですけれども。

先ほど審議委員が言われたように、国語というのは、一つの単元というか、一つの作品を何時間もかけて学習していくものですので、その中で、何を今学習しているのかというのは、なかなか焦点化できなくなってくところがあるので、教科書の中に目的や目標、ここではどんな力をつけるのかということを確認にする道しるべがあるのは、非常にいいのかなと思います。また、先ほど審議委員から、この3者が他より少し抜けているのかなという御意見もありました。

審議委員会としましては、東京書籍、三省堂、光村図書、この3者を教育委員会に推薦するという事について御異議はございませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは、国語は東京書籍、三省堂、光村図書の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。

では、次に、書写でございます。書写も国語と同様に、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4者になっております。4者ございますので、4者の中から3者程度に絞るということになります。選定委員会のほうからは東京書籍、教育出版、光村図書の3者が挙がってきております。もう1者、三省堂もございますので、そこももう一度しっかりと見ていきたいと思っております。それでは、時間をとりますので、教科書を見ていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

[教科書研究]

○委員長 よろしいでしょうか。先ほどもお話しましたが、東京書籍、教育出版、光村図書が選定委員会から挙がってきております。もう1者、三省堂も含め4者の教科書を見ていただきましたが、いかがでしょうか。何か御意見等ございませんでしょうか。お願いいたします。

○審議委員 東京書籍、それから教育出版、光村図書、3者とも選定委員会が出されている資料の「主体的に学習に取り組む態度を身に付ける」という項目の中で、「生かそう」という表現があります。確かにこの3者については、生かそうということと、それから三省堂さんについては、「振り返ろう」という単元構成の表現がございます。「生かそう」というところが、「生活に生かす」という意味で、選定委員が挙げられている3つの各者

については、そのほかに付随する項目というか、発展的な、例えば授業でこういうふうグループワークのときはするのだよとか、それから、こういうところの書き方はこうだよというような付属したものが多く存在するかと思いますので、この3者が他より一つ抜けているというか、発展的に生活に生かせるような書写を目指したつくりになっているのかなというふうに感じております。

○委員長 ありがとうございます。

ほかに、何かお気づきございましたらお願いいたします。

○審議委員 東京書籍の「大空」の字の書き方において、この「大空」で気づいた学びをほかで生かすという視点がすごく重視されているなど思うのが、生かそうという学習過程はもちろんあるのですが、文字の中に、例えば、この大だったら、交わるころは十のときにも使えるということや、払うところは人のときにも使えるという目印が入っているのが、すごく生かす、ほかにも、いろんな学んだことを次に生かすという視点がすごくあって、子供たちの主体性につながるなどというよさを感じました。もう一つ、光村図書ですが、筆運びが音で表してあります。「とん」「すー」「とん」など、あと、力の入れ加減が1・2・3、そして3から2・1など、力の入れ加減を見たら分かるような書き方にしてあり、これは技術的な指導の仕方として分かりやすい。そういった意味でも、東京書籍と光村図書は候補に挙げてもいいのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。東京書籍の分については、1つの文字にしても、他の文字に置き換えたり、他の文字に生かすなど、そういうところまでの指導がなされているということ、あるいは、光村図書の場合には、筆運びが音で表されたり、力の入れ方が分かるような表記の仕方が入っている。そういうところが特長ではないかという御意見でした。他にございませんでしょうか。

○審議委員 光村図書は書き込み式になっていて、ノート不要のところがいいのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。ノート不要のような書き込みになっているところも一つの特長としてあるのかなと思います。教育出版、三省堂については御意見等ございませんでしょうか。

○審議委員 教育出版は、巻末に「書写テストで確認」が設けてあり、基本がしっかりと身に付けられるのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。他に御意見ございませんでしょうか。よろしいでし

ようか。

それでは、審議委員会としましては、東京書籍、教育出版、光村図書、この3者を教育委員会に推薦するという事について御異議はございませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは、書写は東京書籍、教育出版、光村図書の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。ありがとうございました。

本日は、ここまでの審議にしたいと思います。本日できなかった地理、歴史、公民、数学、理科、保健体育、英語、道徳の8種目については第4回の審議委員会で審議を行いたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。それでは事務局からお願いいたします。

○事務局 皆様、長時間にわたる御審議ありがとうございました。

次回の案内になりますが、今回は8月6日火曜日の10時から、場所が毎回異なって御迷惑をおかけするのですが、今回は市役所本庁舎4階の第1委員会室で開催いたします。

最後の第4回ということになりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、本日、資料につきましては、そのまま机の上に置いて帰っていただきますようお願いいたします。

もし、次回のために持ち帰りますという場合には、事務局のほうにお声かけいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、これをもちまして第3回採択審議委員会を終了いたします。ありがとうございました。